

平成28年度第1回仙北地域協議会会議録

平成28年4月27日

仙北地域協議会

平成28年度第1回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■副市長あいさつ	2
■職員紹介	4
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
(1) 平成27年度地域枠予算採択事業について	4
(2) 地域の魅力再発見事業について	4
■協議	6
(1) 地域枠予算について	6
(2) 地域枠予算Ⅲ型の検証方法について	10
■その他	11
(1) 平成28年度仙北地域の予算について	11
(2) だいせんまちづくり基本条例について	16
(3) がんばる集落応援事業について	16
■閉会	17
■署名	18

平成28年度 第1回仙北地域協議会 会議録

■日 時：平成28年4月27日（水） 午後1時30分

■会 場：仙北支所 3階 第1会議室

■出席委員：11名

池田 キミ、伊藤 まり子、伊藤 良子、大釜 滝浩
大河 奈々子、齋藤 勇一、中野 信一、須田 若子
佐藤 隆造、佐々木 誠孝、吉田 利雄

■欠席委員：6名

大西 茂雄、後藤 孝子、今野 順子、佐々木 勝夫
佐藤 美佐子、原 隆新

■出席職員：13名

老松 博行（大仙市副市長）	高橋 正人（まちづくり課長）
加藤健一郎（総合政策課副主幹）	森元 勇平（まちづくり課主事）
大河 洋子（仙北支所長）	藤嶋 勝広（市民サービス課長）
進藤 一好（農林建設課長）	加藤 実（仙北公民館長）
鈴木 忠男（農林建設課参事）	佐藤コトミ（農林建設課参事）
須田 康平（仙北公民館主任）	高山 知洋（地域活性化推進室主席主査）
草薨 友也（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 副市長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 報 告
 - 6 協 議
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

(午後 1時30分 開会)

○吉田仙北地域協議会会長（以下「会長」と表記）

大変、お忙しい中だったと思いますが老松副市長さんをはじめ、高橋まちづくり課長さんご臨席いただきましてありがとうございます。本日は第一回目の地域協議会でございます。色々な角度で皆さんそれぞれの地域で情報を得ながら地域づくりをしていただいていることであろうと思いますが、前年度の地域枠予算の執行率が70%ということになってしまって私の力不足だったなと反省しているところでございます。できるだけ100%に近づけて地域への貢献をしていくべきだったと反省しているところでございます。今回、熊本や大分では大変な大きい災害がございまして他の地域では、この協議会のほうで義援金みたいなことを行なったということを知っております。太田地域協議会の会長さんにお会いする機会がありましてお聞きしたところ、地域協議会の報酬を義援金としたというお話でしたので、もし皆さんから協議していただいてご理解いただければ、仙北地域協議会もそうした対応していけたらなと伊藤副会長さんと私から提案させていただきたいと思っておりますので後ほど協議していただきたいと思います。

また、仙北地域でも14年ぶりに真山で観桜会が開催されたようでございます。栗林市長さんも出席の中での開催ということで地域が活気づいたと思っております。この件については後程説明があるかと思いますが、併せて真山公園のところに鍾馭様も復活させたということで、我々の年代の方々は地域にあったという記憶があると思っておりますが、払田地区の方々が力を合わせて復活させたということで有意義な活動だと思っております。このような事業についても我々の地域枠予算を使って活用できるものがあれば前年度の70%の消化というものをクリアできるのかと思っております。また、自治区の会長さん方とコミュニケーションをとらなければこの予算の活用についてアナウンスされていなんじゃないかなと考えておりますので、その辺を踏まえて機会があればそちらのほうに話をさせていただきながら地域枠予算を消化していきたいと考えてございます。今後も、委員の皆様のご意見を聞きながら進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日はご苦労さんでございます。

○老松副市長（以下「副市長」と表記）

只今ご紹介いただきました副市長の老松博行と申します。4月から引き続き副市長を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。今、会長からもお話がありましたけれども、はじめに熊本県を中心に大きな傷跡を残しております熊本地震によりまして犠牲になられた皆様とご遺族の皆様に対してお悔やみを申し上げたいと思っております。また被災され不自由な生活を強いられている多くの皆様に心からお見舞い申し上げます。大仙市では被災地支援のため被災した建物の応急危険度の判定業務にあたる市職員を25日に熊本へ派遣いたしました。建設部の職員で建築士の資格がある4名が壊れた建物の診断をしているということでもあります。報告がありまして1日に50戸ほどを調べてほとんどが赤いステッカーを貼らざるをえなかったという報告がありました。

28日まで従事することになりまして熊本から1時間ほど離れたところに寝袋と食料も持参して行きました。そういった状況で支援活動にあたっているということでもあります。また、先程義援金の話しもありましたけれども今、市の職員に義援金を取りまとめておりました日赤を通じて被災地へ送る予定となっております。被災地のほうはまだまだ余震が続いている状況でございます。復興への道はまだ見えない状況でありますけれども被災地の1日でも早い復興を願っていることでもあります。

さて、本日は、ご多忙にもかかわらず平成28年度第1回目の仙北地域協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。皆様には、市民と行政との協働によるまちづくりの推進の核として、地域課題を解決する仕組みづくりや、地域枠予算の活用、各種計画への意見、施策・事業に係る提言の取りまとめなど、地域の特色を活かした活発な活動を展開していただいております。また、昨年度は地域協議会並びに地域枠予算について、制度創設から一定の期間を迎えたことから、委員の皆様から沢山のご意見をいただくとともに、様々な角度から制度の検証を行い、地域協議会の運営や地域住民への周知方法、地域枠予算運用に係るガイドラインの改正など、深く掘り下げて見直しを行っていただいたところでもあります。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。さて大仙市ではこの度、平成28年度から始まる10年間の重点的な取り組みやまちづくりの基本を明らかにした、市の新たな羅針盤ともいえる第二次大仙市総合計画を策定いたしました。この総合計画の策定に併せまして地域協議会の皆様からは総合計画の地域版となります地域振興計画を策定していただいたところでもあります。この計画では、10年先を見据えた地域の目指すべき姿とそれを実現するための具体的な取り組みが示されております。今後、市が進むべき重要な道筋となるこれら計画のもと、市民目線に立った実効性のある市政の運営にあたってまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

次に仙北地域の取組みとして3点ほど説明させていただきたいと思いますが、今年度から全地域で実施しております地域の魅力再発見事業といたしまして仙北地域では先程お話がありました但馬真山公園での観桜会を14年ぶりに復活させたところでもあります。本日で開催期間が終了になるということで、実はここへ来る前に寄ってきました。桜はまだ半分位残っていましたが、高梨神社の方へお参りさせていただきました。週末の土日は2日とも別の用事が入ってまして来られなかったんですけども今日、桜も見えてまいったところでもあります。23日のイベントでは地元住民の皆様をはじめ多くの来場者で賑わったと市長からも話を聞いたところでもありますし、民報のほうに詳しく報道されておりました。四季を通した史跡の里づくりという仙北地域の大きな命題があります。その重要な春のイベントということで今後とも皆様からのご協力をお願い申し上げます。

次に2つ目ですけれども、昨年度解体いたしました仙北就業改善センターですが、今は更地となっておりますがここには多目的施設を建設する予定としております。非常時の避難所などの防災機能を備え、また平時には消防団や災害予防組合など防災関連団体の研修や会議の場として活用するほか更には市民が出席する会議や申告相談、期日前投票所などで利用できる庁舎付帯施設としての機能を併せ持つこととしております。建物は木造平屋

建てで延床面積は477.69平方メートル、外観は払田柵跡をイメージさせたものにする
ことで、史跡の里せんぼくをアピールするとともに、渡り廊下で仙北庁舎とつなぎ、市
民の皆様がより利用しやすい施設として整備する予定であります。

次に3点目ですけれども昨年度より進めてまいりました仙北中央地区簡易水道事業で
ございますが、2カ年事業ということで今年度も引き続き関係工事を進めております。平成
29年4月には区域内の給水開始を予定したいと考えております。事業完了後は、安心で
安定した水の供給と、事業統合により水運用の効率化や経営基盤の強化、また維持管理体
制の効率化と強化にもつながっていくものと考えておりますので、事業推進にあたりまし
ては、今年度も引き続き皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。結びになりま
すが、本日の協議会が実りあるものとなり、地域発展に資する契機となりますことをご期
待申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げまして、
簡単ではありますが挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○大河支所長（以下「支所長」と表記）

出席職員紹介。

○会長

議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思ひます。中野信一委員
と池田キミ委員に署名委員を務めていただくようお願いいたします。よろしくお願ひしま
す。それでは、次第に沿ひまして進行していきますが、平成27年度地域枠予算採択事業
について説明願ひます。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

○会長

只今の説明について皆さんからご意見をいただきたいと思ひますがございませぬか。

（「はい」の声あり）

○会長

それでは、次の地域の魅力再発見事業について事務局よりご説明願ひます。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

○会長

只今、事務局の方から説明がございまして、この件につきまして皆様からご意見ご要

望を承りたいと思いますがいかがでしょうか。

○副市長

ちょっと補足説明になるかと思いますが、地域活性化推進室を提言した者として補足させていただきたいと思います。去年の4月に地域活性化推進室を作ったのは皆さんにお話したとおり、その地域の活性化というのはその地域に誇りや郷土愛を持っている人が先になって中心になってやるべきじゃないかと、本庁にはなかなか出来ないんじゃないかということで支所のほうに地域活性化推進室を作らせていただきました。その方々で地域の皆さんと話しをしていただいて11月に市長の前でプレゼンテーションをしていただきまして、予算がついたのがこの事業でございます。本来、他にも色々と考えていたものがあるようすけれども代表する事業がこれということでもあります。ただ予算がゼロのところもありますし、予算がついているところもあります、一応3年位を一つのスパンとしております。ですから、今回ゼロのところは今後予算が出てくるということで3年位でバランスがとれればいいかなと、単純にはとれないかもしれませんが。特徴的なのが、大きなイベントだとか行事を持っているところで、例えば神岡の500歳野球や西仙北の刈和野の大綱引き、それから仙北地域も史跡という今在るもののブランド力を更に高めるといった目的で事業を考えたところもありました。また、まったく新しい分野で地域活性化を図ってみようというところも多かったと思います。最後に説明がありましたけれども、全域のところでは観光ツアーとありますが、これは神岡と仙北と太田地域からでたもので市として旬な時期に旬な場所の観光資源を見て歩くような観光ツアーを企画するもので、本庁のまちづくり課が計画を練って来年あたりから具体化していきたいということのようです。来年、神岡は500歳野球の全国大会をやりますので、例えば22チーム予定してまして1チーム20人だとすると400人位が全国から来ると。その方々は1日いっぱい野球をやっているわけじゃないので野球が終わったら家族と一緒に神岡地域や他の地域を観光して歩いていただければというようなことでした。まちづくり課のほうでは総合的に全市を網羅したような観光ツアーやモデルツアーを組んで来年あたりからやっていただくと考えているところです。以上、補足にならなかったかも知れませんが説明させていただきました。

○会長

ありがとうございました。今、老松副市長さんから経緯を説明いただいて3年間を事業の区切りとしているようです。お話の中にあっただけですが、仙北地域も旧池田氏庭園などの観光施設もあるので、ここら辺を点ではなく他の地域と線で結ぶことによって観光としての魅力がでるんじゃないかっていう話が前々からこの会からも出てましたので大変うれしい限りでございます。この地域をどのような方法で活用できるかってことに懸かっているとしますので委員の皆さんからもそれぞれの組織の中で検討していただいて、それを身にしていただければもっとここの地域も潤うことが可能だと思います。是非これを機会にして、委員会の中だけじゃなくて、仙北地域全体に、自治会や支部の長のほうへ語り

かけながら出来ることから進めていったらどうかと思います。この件につきましてご意見ございませんか。皆さんご理解いただいたものとさせてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございました。それでは、議事に入っていきたいと思います。地域枠予算についてお願いします。今回は4件が申請されているようでございますので事務局より説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅱ型

№. 1 「家族や地域をつなぐお手伝い推進運動事業」

事業目的：家庭・地域・園・学校が連携し、家庭でのお手伝いや仕事を通して、子どものより良い成長を支援することを目的とし、今年度はカレンダー仕様にしたパンフレットと柵磨呂シールを作成し、お手伝いした日にはカレンダーにシールを貼り、お手伝いへの意識向上と日常化を図るもの。

申請団体：仙北地区園・小・中学校連絡協議会

申請額：140,400円（印刷製本費）

○会長

只今、事務局の方から説明がありましたけれどもⅡ型での申請でございます。この件につきましては継続になろうかと思えますけれども内容は多少変わってますので、その辺を考慮しながら皆さんからご審議、ご意見をいただきたいと思えます。

○佐々木誠孝委員

今の子ども達はお手伝いする機会が少ないという感じの中で何か打開策をとということで作られたものだと思いますが、このような方法を出していただくと家庭内でのお手伝いが潤滑に動き出すということで人格形成といいますかそういう為には非常に将来社会に出て役立つんじゃないかなという感じがします。素晴らしいアイデアだと思います。

○会長

只今、佐々木委員からは大変、有意義な活動であるから賛成いたしますという声がございますが、その他に意見ございませんか。

○大河奈々子委員

去年、学校から配られたのを覚えています。今年は、カレンダー仕様になるということで使いやすいのかなって思います。今、幼稚園でも小学校でも長期の休みになればお手伝いとか必ずして書いていくものあるんですけども、それってその時だけなのでこれがあれば毎日、家族の中で話し合っ出来るのかなと思います。

○会長

手伝う芽を育てるということで有意義な活動だということでありました。その辺を考慮しながらいかがでしょうか。全員の了解を得たものとさせてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございます。この事業については、了承を得たということで次のNo. 2の事業について説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・実施類型Ⅱ型

No. 2 「川前地域環境美化事業」

事業目的：国道13号線沿いの花壇を整備することで、住んでいる街を慈しみながら道路沿線環境美化を推進し、地域の活性化に寄与するもの。

申請団体：大美会

申請額：106,448円（消耗品費、使用料及び賃借料）

○会長

只今、説明がございましたけれども、これも昨年からの継続事業でございます。仙北地域にバイパスから入って来るところの交差点のところ、秋田方面へ向かうと左側にあるところのようでございますが、車を運転している人が信号で止まったときに心が和むと思います。皆さんからご意見を伺いたいと思います。

○齋藤勇一委員

大変結構だと思います。

○池田キミ委員

有ると無いではまったく違いますので、いい街だなということにも繋がるのでいいと思います。

○会長

行政の方では継続ってことについてマンネリ化ということで全体会議のときにも話ができましたけれども価値あるものについては、私は継続でも認めるべきだろうということで話をしてきた経緯もございますので、皆さんから賛成いただければ継続でも可決させていただきたいという思いで意見を伺ったところでございます。いかがでしょうか。皆さんからご理解いただいたものとさせてもらってよろしいでしょうか。

○佐藤隆造委員

旧建設省のOB会となっておりますけれども会員の住所ってというのはバラバラでして必ず近くに住んでいる人ではないのですか。

○会長

そうですね。資料を見ると会員名簿は色々な地域からの会員が参加しながらこの会を組織しているようでございます。ただ、仙北地域の方もいらっしゃいますし、整備する場所が仙北地域ですし、このような申請になっていると理解しておりますがいかがですか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ご理解いただけたということでこの審議は閉じさせていただきたいと思います。引き続き、No. 3でございませう。さっき審議していただいた事業の反対側の花壇でございませう。これも長年継続してやっていたいてませうが、秋田方面から来ると我々の地域に入るところでございませう。伊藤副会長さんの提案でございませうが、ご審議願いたいと思ひませう。

・実施類型Ⅱ型

No. 3「大仙市商工会女性部仙北支所環境美化事業」

事業目的：地域の玄関口として多くの住民や車両が往来する国道13号線に花卉を植栽し、地域の環境美化活動の推進及び地域活動の活性化を図るもの。

申請団体：大仙市商工会女性部仙北支所

申請額：75,373円（消耗品費、使用料及び賃借料）

○中野信一委員

別に反対な訳ではないですけれども、先に審議した建設省のOB会で機械や機具のところでは耕運機のリースと散水機のリースとなっておりますが、商工会さんのほうではジョウロで水遣りして何も機械を使ってないんですか。

○伊藤仙北地域協議会副会長（以下「副会長」と表記）

私達のほうは、自然の水が流れているところから離れているので、どうしても水遣りするときに難儀しているんですけども、女の人達だけなのでそういう機械を借りてもなかなか使いこなせないで、今年はタンクの購入費を申請に加えてありますけれども自分の家から水をタンクに入れて持って行ってジョウロで水遣りをするつもりです。委員さんご心配のとおり私達も本当に難儀しているんですけども、今年も頑張りますのでどうか皆さんよろしく頑張らせてください。

○会長

中野委員さんよろしいですか。

○中野信一委員

いいです。借りなくて良いならそれでいいです。

○会長

なかなか機械を借りてきても使いこなせないってことで当初は三建塗装さんから水をもらっていたってことを聞いたんですが、それじゃあまりにも僥倖がたいってことで今は副会長さんがおっしゃったような方法で水遣りしているということです。大変なことだなと感じておりましたが、やはりあの場所を通過して信号待ちしているときに花壇を見ると心が和むと思います。継続については色々と審議されてますけれども私は身になるものは継続であっても何も問題ないと思っております。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○会長

皆さんからご理解していただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。次にN o. 4の地域枠予算についてご説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・実施類型 I 型

N o. 4 「仙北地域振興計画概要版印刷事業」

事業目的：昨年度、本地域が今後10年間で目指す方向性を示し、それぞれ具体的な取組みをまとめた地域振興計画を地域住民と共有出来るよう地域振興計画の概要版を作成し、地域住民へ配布するもの。

申請団体：仙北支所地域活性化推進室

申請額：80,784円（印刷製本費）

○会長

只今、説明がございましたけれども、この件につきまして皆様からご意見いただきたいと思っております。

○副市長

地域振興計画を策定しまして各地域それぞれ地域の皆さんにお知らせするようというところで、昨年度中に地域枠予算で作成して配布したところもありましたので、出来ればこれは全地域にお願いして配布していないところは作成して配布して地域の皆さんにお知らせしてくださいということで私のほうからもお願いしたいと思っております。

○会長

という副市長さんからのお話もありましたがよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ありがとうございました。この4件の地域枠予算の申請について審議終わりましたけれどもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

ありがとうございました。それでは地域枠予算Ⅲ型の検証方法について説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

○会長

只今、事務局のほうから検証の方法について説明がございましたけれども一方的じゃなく委員の皆さんからの手を借りながら取り上げていくということでありましたので、その辺を認識のうえで協議していただくことになろうかと思っております。あくまでも継続事業についてですのでひとつその辺をご理解いただきながらということでございますのでいかがでしょうか。

○伊藤良子委員

難しい部分もあると思っておりますけれども、1人じゃなく皆でっていうことを聞いて少しほっとしたところです。

○会長

恐らく、なんでもありの継続っていうものを無くして見直すべきところは見直してもらいたいっていうのが行政のほうの意見だと思います。皆さんがそれぞれの立場で審議していただいでいくような形になろうかと思います。

○副市長

地域枠予算っていうのは地域の皆さんを応援する予算なんです。ですから地域の方がこういうことをやりたいってことがあって、地域協議会で審議していただいて、予算がつくといった趣旨のものなので、それを止めなさいってことではありません。ただ、会長からお話がありましたようにこうすればもっと良い活動になるんじゃないかとか、決してこれはマイナスの方向だけじゃなくてプラスの方向で捉えていただければいいんじゃないかと思います。地域枠予算は地域の皆さんの活動を応援する予算だっていうことですのでよろしくお願ひしたいと思ひます。また、地域によってはオーバーフローしている地域もあって、継続事業だけで100%予算をつかってしまっているのに新規事業をやりたいという申請がきても対応できないようなところもあって、執行率が100%になっているところはそういった課題もでてきていてそういった背景もありました。

○会長

今、副市長さんのほうから説明あったとおり、継続、継続で行くと他の事業が出来ないということでそれを審査の対象にしたらどうかってことで苦渋の意見だと思います。地域性が非常に大きく出ているなど私は感じてますけれども、その辺をご理解いただいてⅢ型についてはそういうことをございますのよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

それでは、議事のほうはこれで終わりましたが、次のその他へ入ってよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

それでは、平成28年度仙北地域の予算について説明願ひたいと思ひます。

○支所長

藤嶋市民サービス課長事務局（以下「市民サービス課長」と表記）

進藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

加藤公民館長（以下「公民館長」と表記）

配布資料に基づき説明。

○会長

ありがとうございました。只今、地域活性化推進室並びに市民サービス課、農林建設課、公民館事業と文化財保護課の仙北地域分について説明がございました。この件につきまして皆さんからご意見いただきたいと思います。

○大釜滝浩委員

全域で道路の路盤もそうだし橋の付け根も痛んでいるようなのでよろしくお願ひしたいと思います。

○会長

道路について、市道の補修に手をかけていただければというご意見でございました。

○副市長

今、ご指摘の通り雪が少なかった分、道路の補修に取り掛かっているところでしたけれども、やはり予算が足りないということで緊急に各地域1千万円の予算をつけてやれるところをやるということで当初予算の他に追加いたしました。どこをやるかは支所で計画が出来ていると思いますので対応できるものについては直ぐに対応していきたいと思っています。

○会長

只今、大釜委員からの要望につきまして副市長さんから議会で予算を計上させていただいたということでございます。その他ございませんか。

○須田若子委員

児童クラブですけれども、この前横堀小学校に行ったら教室の準備が出来ていて始まっているような感じでしたが、今の話ですと29年の4月1日から受け入れるって感じなんですか。

○市民サービス課長

今の予定としてはその予定です。市長、副市長には可能であれば前倒しでやりなさいという指示はいただいています。

○須田若子委員

現在の児童クラブは非常に狭くて子ども達が机を並べて走るところも全然ないんですよ。この横堀小学校の場合ですと準備が出来ていたのもうやってるのかなと思って帰って来たんですけども。

○市民サービス課長

この予算には補助金も使われていて事前着工できないので取り掛かっていない状況です。

○須田若子委員

分かりました。

○副市長

委員さんおっしゃる通りで、補助事業という条件は勿論クリアしなければいけないんですが、なるべく早く完成すれば直ぐ入っていただくようにしたいですし、今お願いしている児童クラブのほうに支援員を増やしていただくことになるだろうと思いますので、そちらのほうもお願いしながらということになります。実は、同じ問題が中仙地域にもありまして、中仙地域については豊岡小学校の校長先生とお話させていただいて、条件が整ったら整備していただいて、子ども達に入っていただくようにしたいと思っております。仙北のほうも準備が整ったら来年の4月じゃなくてもなるべく早くということになるろうかと思えます。よろしくお願いいたしたいと思えます。

○須田若子委員

ありがとうございました。

○会長

いいですか。準備が出来たらということは補助金の認可をいただかなければ運用できないということですのでご理解いただきたいと思えます。他にございませんか。

○佐藤隆造委員

FMはなびが開設されるときに、仙北にある防災無線がそれに代わるという説明があったんですけども、まだ寿命があるようで管理費として予算がありますが、それが何年位もつものかということと、防災ラジオは何かあったとき自動で電源が入るということで非常に期待を持っておりましてし、太田地域の工場で作っているとのことでしたのでそこら辺はどうなっているのかということと、FMはなびが放送されておりますが、市民の反響といえますか、そういうものがどうなっているのか教えていただきたいと思えます。

○副市長

緊急告知ラジオということで、出来れば市販されているものじゃなくて市内の企業に作っていただくことができないかということで色々相談して、太田にある企業にお願いしておってもう試作品も出来ております。1万台を今年の予算でお願いしております。実は値段が1万2千円なんです。市販されているのは7千円から8千円位と色々あるんでしょうけれども自動で電源が入るっていうのはそれ位の値段になってしまうということなんです。実はこの1万台はいわゆる高齢者だけの世帯だとか身体の不自由な方の世帯ですとかそういう方の世帯に8千台程、大部分はそういう方々にお配りする、貸与するということ

になるんですけども、一般に購入される方に半分位補助するという事で、実際購入される方は市から補助をもらって7千円位になるのかと思っております。そのラジオは緊急告知機能がありまして、スイッチを入れてなくても災害時や緊急時に大事な情報があるときに自動でスイッチが入って災害対策本部の情報が流れるということになります。今年の夏頃からそういう方々にお配りするという事になるかと思っております。普通のラジオでも周波数を合わせると聞けるんですけども、緊急の場合に自動で入るのが欲しいという方はそういった方法で購入してもらおうことになると思います。

それから、FMはなびですが、8月から開局して聴衆率といいますか聞いてもらっている割合がまだ高くないと聞いております。ラジオ放送の内容が良いとか悪いとかいう前の問題で、広告料を払っていただいているスポンサーの皆さん多いんですけども、朝・昼・夕方と生放送についてはまずまずの評価をいただいているんじゃないかと思っております。ただ、生放送以外は申し訳ないですけどスタッフがまだそんなに多くなくて再放送を流している状態です。なので今は聴衆率を高くすることを一生懸命やっているところで、勿論ラジオの放送内容を良くして聞いていただくということになるんでしょうけれども、今はそういう段階です。ですから先程、お話ししましたがけれどもラジオを配ることが契機になればいいなと思っております。

○市民サービス課長

防災行政無線ですけども、既に製造してなくて調達できない部品もあると聞いております。そこが壊れてた場合は、放送自体が不可能になるんですけども、それがいつ壊れるかというのは分かりません。財政課のほうからは使えるうちは有効に使ったらということで聞いてます。平成元年から仙北地域の皆さんに親しまれてきたものですし、本当に壊れるまでは使っていきたいと思っております。無線の鉄塔の撤去も結構かかるんですが、事業計画には、いつ撤去するというように載せておりませんので使えるうちは使って、使えなくなった時に撤去とか考えていきたいと思います。

○会長

佐藤さんよろしいですか。はい、ありがとうございます。その他ございませんか。

○池田キミ委員

道路のことで仙北1号線の歩道ですけども、通学路ですので断片的にでかしてそれで安心していただかないで歩道をずっと通していただくような考えをもっていいただければと思います。

○会長

恐らく、これは去年からの継続で続いてきている事業ですよ。

○農林建設課鈴木参事

本当は向川寺のほうから福田の町中の手前までの計画で3カ年で出来る予定だったんですけども、国の補助金に依存して行なっている事業なので去年も減らされましたし、今年も減らされていて中々進捗出来ない状況で大変申し訳なく思っています。子どもさん方の為には、早急にでかしたいと思っておりますけれども、無い袖は振れませんのでご容赦いただきたいと思います。福田の町中の手前までは、歩道を設置して福田の町中はグリーンベルトで対応させていただくという形で整備していきたいと思っておりますのでご理解いただきたいと思います。

○池田キミ委員

私が、歩道に執着するのは、いつの校長先生だったか忘れたんですが、新しく来た校長先生が県道を一生懸命汗を流して子ども達を引率する為にどういった道路状況なのかっていうのを確認して歩いてくださっていて、それを見た時、地域の子も達を汗流して守ってくれているんだと思って、やっぱり私達地域住民もそういった気持ちを高めていかないとって思ったところでした。

○会長

行政のほうからも説明ございましたが、設定した年度では完成できないかも知れないんですが継続事業として地域交通の為に整備していくということでございました。池田委員さんがおっしゃることももっともで、行政だけじゃなく我々で出来ることは協力していくということだと思います。

○佐々木誠孝委員

私、民生委員をやっているんですが担当している地域では乗り合いタクシーの上野田線を利用しているのですが通院するとかそういうことにおいては、非常に助かっているということを知っております。良かったなと思っております。予算もついている訳ですが利用者というのはどうなものでしょうか。徐々に伸びているのでしょうか。

○市民サービス課長

今、手元に数字を書いたものを持って来ていないんですが、利用者は年々増えてきております。ここ2、3年は当初予算で足りなくて本庁のほうから融通してもらったりしております。

○佐々木誠孝委員

高齢者や一人暮らしとか増えてきております。それに対して利用者も増えていくんだろうなと私なりに思っていました。利用者からの要望とかはどうですか。

○市民サービス課長

3期の計画で仙北の場合は3路線ありますし、昨年度から長信田線も市のコミュニティ

バスということで羽後交通から市営に変わっているんですけど、利用者のご要望とかその都度、こちらのほうにも寄せられてきます。そういったものを市全体で検討しながら、運行形態だとか路線だとか料金とか出来るだけ利用しやすい形に改善するというので、明日また28年度の1回目の会議あるんですけども皆さんからも是非、その都度で構いませんので私のところまで情報提供お願いしたいと思います。

○会長

只今、色んな意見いただきましたけれども、その他ございませんか。なければこの件について閉じたいと思いますがよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

それでは、次のだいせんまちづくり基本条例について説明願います。

○総合政策課加藤副主幹

配布資料に基づき説明。

○会長

ありがとうございました。本来であれば1年で策定する予定でございましたが熱心に協議した結果3ヶ月位オーバーしてしまったということで、本当に色んな意見がでました。特に市民の権利については非常に検討されております。広報でも皆さんのほうにお知らせされていると思いますが、これが出来たからといって市民生活が変わるものかというところではなくてこれを基本としてまちづくりにご尽力いただければということが市長の思いだと私は思います。

なければ、次に進みたいと思いますがいかがですか。

(「はい」の声あり)

○会長

それでは、がんばる集落の応援事業について説明願います。

○高橋まちづくり課長

配布資料に基づき説明。

○会長

只今、がんばる集落についての説明がございました。地域予算と併せての活用ということでまちづくり課長さんから説明がありましたけれども、この件につきまして皆さんか

らご意見、要望をいただきたいと思います。

今日、お見えになってないんですけども原委員のところでは既に先立って活用されているところがございます。もし、他の地域でも活用してみたいというところがあれば情報提供や支援をしていただけるものと思っておりますので、地域枠予算と併せてお願いしたいということでしょうかからよろしくお願ひしたいと思ひます。

○副会長

これを活用して事業ができれば非常にいいと思ひます。これは、各自治会の会長さんと連絡を密にして色々な意見を出してもらって活用していけたらと思ひます。

○会長

我々だけじゃなく、自治会の皆さんと意見交換をしながら活用できるような協議をすることが大切だという意見でございますのでそのような配慮いただければなと思ひます。

なければ、今日の会議を閉じてもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

それでは、会を閉める前に熊本への義援金のお話をさせていただきましたが、皆さんのご理解が得られればと思っておりますがいかがでしょうか。今日出席していただいた委員さんからご理解いただければ出席していない委員さんへもご連絡したいと思ひますが、いかがですか。ご理解いただけますか。

(「はい」の声あり)

○会長

皆さんからご理解いただいたものとさせていただきますので、今日欠席の方々にも事務局のほうからご連絡お願ひします。

それでは、今日予定していたものについては終わりましたので、これで第1回の地域協議会を閉じたいと思ひますが、いかがでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

大変、予定した時間を超えましてご迷惑をおかけしましたけれども、有意義な発言をいただき協議していただいたことに感謝申し上げましてこの会を閉じたいと思ひます。ご苦労さんでございました。

(午後 3時55分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

中 野 信 一

池 田 キ ミ
